

Rotary International District 2820

下館ロータリークラブ会報



人類に
奉仕する
ロータリー

発行日：平成 28 年 11 月 9 日

第 02420 号

2016-17
ジョン F. ジャーム RI 会長



▲ 母子島遊水地に生息する生きもの (左上からアゲハチョウ、シジミチョウ、セセリチョウ、チョウトンボ、ツマグロヒョウモン♀、モンシロチョウ、アオイトトンボ、ベニモンアゲハ、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン♂、ハグロトンボ、ツグミ、ベニシジミ、アカトンボ、ノコギリクワガタ、オオバン、シオカラトンボ、モンキチョウ、ヤマトシジミ、ヒヨドリ)

本日のプログラム

白戸ガバナー公式訪問

次週のプログラム

下館 R C の歴史と伝統

日向野 陽 会員



会長 / 早瀬浩一
会報・広報委員会

副会長 / 鈴木光則
委員長 / 武井宏樹

幹事 / 神山芳子
副委員長 / 中里泰久

会長エレクト / 永盛 武
委員 / 佐藤 昭 黒澤昌之

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2765回 2016/11/2(水)

会長挨拶 早瀬浩一 会長

会員の皆様、こんにちは。朝晩、めっきり冷えてきました。そろそろインフルエンザも流行する季節となりました。予防接種を受けられる方は、早めに受けるようにして下さい。

さて、27日の日曜日に招待され、古河ロータリークラブの50周年式典に神山幹事と行ってきました。古河市内にあるカナリハウスという結婚式場で行われました。ガバナーをはじめ古河市長、古河警察署長、4分区、5分区のロータリアン、そしてツインクラブの台湾のロータリクラブの方々と、式典は、盛大に行われました。特に印象に残ったのは、ツインクラブの台湾の国歌斉唱でした。30年前締結式を行い、今日まで交流は続いているそうです。私たちも、ネパールから来ていただいたときにはぜひ、国歌を流してあげたいなと思いました。また、記念事業として公園の時計贈呈と記念講演で“アグネス・チャン”をよばれたそうです。その時の映像を見せていただきました。

年齢的には、私と同じくらいのアグネス・チャンですが、今も昔と変わらぬ元気な声でユニセフの事を話されていました。来年、つくばのノバホールで行われる地区大会に、講演が決まったそうです。今から楽しみにしています。

最後に、今月は財団月間です。今年、財団100周年でもあります。寄付よろしく、お願い致します。

理事会報告 神山芳子 幹事

1. ガバナー公式訪問時の内容の承認
2. 12月のプログラムを承認
3. 会報のホームページ掲載について
4. 2016-2017年度 役員選出案並びに準則変更について
臨時理事会の開催を承認 11/16 1:30～
5. 12月の定例理事会 11月30日開催を承認
6. 総会の日時変更を承認 12月14日
7. 親睦委員会 クリスマス例会のスケジュールと予算案を承認

幹事報告 神山芳子 幹事

1. 白戸ガバナー事務所より
 - ①財団ニュース 10月号を受理
 - ②バギオ基金 第38回バギオ訪問交流の旅募集要項を受理
2. 例会変更案内を受理
 - ①結城 RC 11月23日 移動例会「健康の森フェスティバル」
 - ②岩瀬 RC 11月16日 移動例会 11月23日休会
3. 会報受理 水戸西 RC、水戸 RC
4. 下館ロータアクトクラブより 幹事報告書受理

ロータリー財団100周年

百目鬼博行 地区R財団補助金小委員長



【11月R財団月間について】

R I 理事会は奉仕の重要性を認識し、特に力を入れるため毎年11月を「ロータリー財団月間」と指定し、月間中クラブは少なくとも1回の例会プログラムを財団に関する内容とすることを求めている。(手続き要覧P89～90)

11月には全世界のロータリークラブが、財団に関する例会を開催するものと思います。更に前年度からは、グローバル補助金対象の「6つの重点分野」が特別月間に組み込まれました。R財団の果たす役割に益々期待が高まっている。

【ロータリー財団100周年について】

ロータリー財団は1917年にアトランタで開催された国際大会においてアーチC・クラフより提案されて以来、今年度100周年を迎えます。

今回の「出前卓話」では、ロータリー財団の歴史を振り返りながら、あらためて財団の



役割等についてご理解を頂きたい、ご説明させていただきますと思います。

1917年 当時のロータリー会長、アーチ・クラフが「世界でよいことをするための」基金の設置を提案

1928年 「ロータリー財団」と正式に命名
ミネアポリス国際大会で正式に命名され、管理委員会が設置されました(それまではRI理事会が基金を監督)。

1929年 初の補助金500ドルを国際障害児協会に授与
国際障害児協会(イースターシールズ)は、1919年にロータリー会員エドガー・F. アレンにより設立されました。地元オハイオ州に病院を立てる事業を終えたばかりのアレンは、障害児の多くが世間の目から遠ざけられていることに気づきました。ほかにも障害児への支援を行っていたロータリアンが多くおり、1922年ロータリー国際大会では障害児への支援がクラブに呼びかけられました。ロータリー財団にとって国際障害児協会への支援は自然な成り行きでした。

1947年 ポール・ハリス逝去後にロータリー会員から130万ドルの追討寄付

ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

1957年 ポール・ハリス・フェロー認証プログラムを創設

財団で初の寄付者認証プログラム。1,000ドル以上を寄付した人に「ポール・ハリス・フェロー」の称号が授与され、後年、複数のレベルが設けられました。寄付者が指定したほかの人にポール・ハリス・フェローの称号を贈ることもできます。ポール・ハリス・フェローの数は、2006年に100万人に達しました。

1963年 地区の組合せプログラム創設

1965年 「マッチング・グラント」プログラムの開始
クラブと地区のプロジェクトに補助金を提供する財団初の常設プログラム。

1978年 大規模な人道的取組を可能とする「保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金プログラム」を創設

3-Hプログラムは、保健、飢餓の緩和、人道的活動や開発を改善することを目的としています。きれいな水の提供、識字率向上、医療の支援など、多様なプロジェクトに利用されたこの補助金は、今日の「グローバル補助金」の土台を築きました。

1979年 フィリピンで600万人の児童へのポリオ予防接種活動を開始

ロータリーが承認した最初の3-H補助金は、フィリピンでの予防接種用にワクチンを購入することが目的でした。同じ頃、天然痘の撲滅に関する記事を読んだクレム・レヌーフ国際ロータリー会長は、数人のロータリー会員及び国立衛生研究所の感染病部門責

任者だったジョン・セバーに連絡し、伝染病の撲滅にロータリーが取り組めるかどうかを相談。セバーはポリオ撲滅への取り組みを勧め、経口ポリオワクチンの開発者であるアルバート・セービン博士との協力を提案。セバーとセービンの両者とも、ロータリーのポリオ撲滅プログラムに欠かせない存在でした。

1980年 「予防接種を通じてポリオを撲滅すること」がロータリーの目標に

1981年 財団が恒久基金を設立

恒久基金とは、特定の寄付を投資し、元金には手をつけずにその収益のみを財団の活動に活用することを目的とした基金。

1985年 ポリオプラス・プログラムを創設

当初、「プラス」はポリオワクチンとともに投与されていたほかのワクチンを指していました。現在は、ポリオ撲滅の取り組みにより築かれたインフラやファンドレイジングとアドボカシーのノウハウを、他の疾病対策に生かしていくことも意味しています。

1995年 全国予防接種日の支援を目的とした「ポリオプラス・パートナー」プログラムを創設

1999年 ロータリー平和センターの設立

平和と紛争予防・紛争解決の分野で活躍できるリーダーを育成することを目的としたプログラム。毎年、100名までのロータリー平和フェローが選ばれ、6つのセンターにおける修士号取得プログラムか専門能力修了証取得プログラムのいずれかで学びます。第1期フェローは、2002年秋に学業を開始。

2004年 「EREY」を開始

Every Rotarian, Every Year 全ロータリアンが毎年財団に寄付することを奨励する取り組み。当初は年次基金への一人あたりの寄付額を年100ドル以上とすることが目標でしたが、開始から10年後、年次基金への一人あたりの寄付額は116ドルとなりました。

2004年 250,000ドル以上の寄付者認証プログラム「アーチ・クラフ・ソサエティ」を設立

2007年 ビル&メリンダ・ゲイツ財団が1億ドルのチャレンジ補助金をロータリーに授与

2009年 ロータリーと米国国際開発庁が国際H2O協力を開始

2013年 簡素化された補助金モデルを導入

新しい補助金モデルの下、グローバル補助金と地区補助金の2種類を導入。これに伴い、3-H補助金、マッチング・グラント、旧地区補助金、国際親善奨学金、GSEは廃止されました。

2015年 ポリオ常在国数が2カ国に

約30年にわたるロータリーとパートナー組織の懸命な取組により、1988年のGPEI発足以来、ポリオの発症数は99.9%減少。

2016年 財団創立100周年

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。



財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

【アーチC・クランフのビジョン】

私たちは、財団を通じて奉仕の喜びを知ることができます。財団には、会員だけでなく、学友や友人も、地域社会のためによいことをし、人びとの生活に重要な変化をもたらせる多くの機会があります。

世界でよいことを続けるために

- ①地区補助金プロジェクトを活用し地域によりよいことをしましょう
- ②海外のパートナークラブ（姉妹クラブ）と協力して、重点分野に該当するグローバル補助金プロジェクトを実施しましょう
- ③クラブまたは地区が実施する補助金プロジェクトに積極的に参加し、これからもずっと世界でよいことを続けていけるよう、財団に寄付をお願いします

社会奉仕委員会からのお知らせ

永井啓一 委員長

9月2日(水) 母子島遊水池のゴミ拾い等をロータリークラブ会員及び自治会の皆様と行いました。除草作業も済んでいましたので大変綺麗になりました。筑波山がきれいに見えます。母子島に来て見てください。



スマイルBOX 永盛 武 委員長

結婚記念 島田 茂・関谷 徹・早瀬浩一・堀江 勤・河添康徳さん

パートナー誕生 加藤昌美・小林一彦さん

会員誕生 瀧田昌甫・潮田武彦・永盛 武さん

▶**神山芳子さん** 幹事就任から4ヶ月が過ぎました。これからもよろしくお願いいたします。

百目鬼ロータリー財団委員長、本日の卓話で学ばせて頂きます。

- ▶**日向野 陽さん** 百目鬼会員の卓話楽しみにしています。
- ▶**加藤昌美さん** 百目鬼地区財団委員長、卓話大変ご苦労さまです。
- ▶**小林一彦さん** 百目鬼さん、卓話楽しみにしています。
- ▶**関谷 徹さん** 百目鬼さん卓話よろしくお願ひします。
今月もニューモラルを配布させていただきます。
- ▶**鈴木光則さん** 百目鬼地区財団補助金委員長、卓話よろしくお願ひします。
- ▶**新井利平さん** 百目鬼会員、卓話ご苦労様です。
- ▶**永井啓一さん** 百目鬼会員、卓話楽しみにしておりました。
- ▶**鈴木健一さん** 百目鬼地区財団補助金委員長、ロータリー財団100周年の卓話よろしくお願ひします。
- ▶**島田 茂さん** 百目鬼さんの楽しみな卓話途中退席して申し訳ございません。
- ▶**小野博史さん** 百目鬼さま、卓話よろしくお願ひします。
- ▶**馬場 保さん** 百目鬼会員、卓話よろしくお願ひ致します。
- ▶**永盛 武さん** 百目鬼さんの卓話を記念して、下館マンドリンクラブの定演のチラシを配布させていただきました。

本日の合計 63,000円
累計 327,000円

出席報告

中里泰久 委員

会員数	出席	欠席	病欠	免除
32	23	6	0	3

■メイクアップ

(敬称略)

月日	メイクアップ場所・出席者
10月30日	古河RC50周年記念式典 早瀬浩一・神山芳子
11月1日	古河東RC 神山芳子
11月1日	友部RC 百目鬼博行

※発表や報告をされた方は、発表内容をデータ又は紙にて会報・広報委員会迄ご提出下さい。